

サスマド

4263・100株

12月24日東証マザーズ上場

不眠症治療用アプリ開発

医療機器開発及びその協力、各種医療情報の収集・提供を行う。セグメントは(1)自社の治療用アプリ開発で構成される「DTxプロダクト事業」、(2)汎用臨床試験システムと機械学習自動分析システム並びにこれらシステムを活用したDTx開発支援から構成される「DTxプラットフォーム事業」の2つ。不眠症治療用アプリは医療機器承認申請の準備段階。

不眠症治療用アプリを開発する医療スタートアップとして度々メディアに取り上げられるなど、注目度は比較的高い。しかし、公開規模にはやや荷もたれ感があり、ベンチャーキャピタル保有株もまずまず多い。さらに、12/24はほかに6社が同時上場するとあって、需給懸念は拭いづらいだろう。

公開規模については40億円前後となる見込み。公募・売出株の一部を海外販売するため、需要動向を注視したい。

■IPOスケジュールと類似企業バリュエーション

日程	
仮条件提示	12月8日
ブックビルディング期間	12月9日～12月15日
公開価格決定	12月16日
申込期間	12月17日～12月22日
払込日	12月23日
上場日	12月24日

類似会社3社			
Welby<4438>	5.4倍	→	825円
レナサイエンス<4889>	4.7倍	→	790円
サイバーダイン<7779>	1.8倍	→	365円

(類似会社はいずれも業績予想未定また赤字予想のため12月7日終値ベースのPBRを記載)

サスメド

4263・100株
12月24日東証マザーズ上場

決算期	事業収益	業績推移 (百万円・%)				
		伸び率	経常損失	伸び率	純損失	伸び率
2018/6	1	—	▲129	—	▲133	—
2019/6	5	200.7%	▲215	—	▲216	—
2020/6	34	593.5%	▲88	—	▲96	—
2021/6	115	231.0%	▲271	—	▲277	—
2022/6予	95	-17.7%	▲724	—	▲748	—
2021/9 1Q	30	—	▲128	—	▲129	—
予想EPS/配当	単独：-円/0.00円 ※予想EPSは上場時発行済株式数で試算					

■業績コメント

2022年6月期の業績は、事業収益が前期比17.7%減の0.9億円、経常損失が7.2億円(前期は2.7億円の損失)と減収・赤字拡大の見通しとなっている。

今第1四半期(2021年7-9月)において不眠症治療用アプリの検証的試験を予定どおり進めている。また、不眠症治療用アプリ以外のパイプラインについては、アドバンス・ケア・プランニングを支援するアプリのPoC(概念実証)取得に向けた探索的試験を開始した。乳がん患者向けの運動療法アプリに関しては検証的試験の、慢性腎臓病患者向けの腎臓リハビリアプリに関してはPoC取得に向けた探索的試験の準備をそれぞれ行っている。さらに、新たなシーズ探索のために、国立大学法人浜松医科大学と共同研究契約を締結した。なお、現時点において、新型コロナウイルス感染症による同社業績への影響は軽微である。これらの結果、同期間における業績は、事業収益0.3億円、営業損失1.2億円、経常損失1.2億円、四半期純損失1.2億円となっている。

基本概要	
所在地	東京都中央区日本橋本町3丁目7番2号
代表者名 (生年月日)	代表取締役社長 上野 太郎 (昭和55年12月21日生)
設立	平成27年7月31日
資本金	1億円 (令和3年11月19日現在)
従業員数	21人 (令和3年10月31日現在)
発行済株式数 (上場時)	15,547,600株 (予定)
公開株式数	公募 2,291,000 株 売 出 302,000 株 (オーバーアロットメントによる売出388,900株)
想定公開規模	36.1億円~42.0億円 (O A 含む)
事業内容	医療機器開発およびその協力 各種医療情報の収集・提供

サスメド

4263・100株

12月24日東証マザーズ上場

売上高構成比率（2021/6期実績）

品目	金額	比率
DTxプロダクト事業	- 百万円	- %
DTxプラットフォーム事業	115 百万円	100.0 %
合計	115 百万円	100.0 %

幹事証券団（予定）

	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	SMBC日興証券(株)	未定	未定
主幹事証券	(株)SBI証券	未定	未定
幹事証券	東海東京証券(株)	未定	未定
幹事証券	あかつき証券(株)	未定	未定
幹事証券	いちよし証券(株)	未定	未定

大株主上位10者とロックアップ

株主名	持株比率	ロックアップ
上野 太郎（社長）	48.20%	180日間
Beyond Next Ventures 1号投資事業有限責任組合	15.70%	90日間 1.5倍
SBI AI&Blockchain投資事業有限責任組合	8.00%	90日間 1.5倍
（株）スズケン	4.80%	継続保有
第一生命保険（株）	4.00%	90日間 1.5倍
市川 太祐	2.80%	180日間
本橋 智光	2.10%	180日間
住友商事（株）	1.70%	継続保有
サワイグループホールディングス（株）	1.70%	継続保有
ソニーグループ（株）	1.20%	90日間

その他情報

手取金の使途	(1) 研究開発資金、(2) 人材投資、(3) オフィススペース拡張に充当する予定	
関係会社	-	
VC売却可能分（推定）	-社 -株（売出し・保有期間などの制限があるもの以外）	
直近有償第三者割当	年月日	2020年12月25日
	割当先	ヘルスケア・イノベーション投資事業有限責任組合
	発行価格	857円※株式分割考慮済み

サスメド

4263・100株

12月24日東証マザーズ上場

■ 銘柄紹介

同社は、医薬品、医療機器に次ぐ第3の治療法として注目されている「デジタル治療(Digital Therapeutics、「DTx」)」の開発を中心として事業展開を行っている。また、DTxの開発にあたって独自に構築した臨床試験システムを汎用化し、製薬企業、学術研究機関、医療機関、医薬品開発業務受託機関(Contract Research Organization、「CRO」)等の第三者へ提供することで業界全体での創薬プロセスの効率化を、加えて、世の中に膨大に蓄積されている医療データの利活用を目的として開発した機械学習による自動分析システムを製薬企業、学術研究機関等へ提供することで効果的・効率的な医療サービスの実現を目指している。同社のセグメントは(1)自社の治療用アプリ開発で構成される「DTxプロダクト事業」、(2)汎用臨床試験システムと機械学習自動分析システム並びにこれらシステムを活用したDTx開発支援から構成される「DTxプラットフォーム事業」の2つとなる。なお、「DTxプロダクト事業」については現在、検証的試験を終了しているが、製品の販売には至っていない。

(1)「DTxプロダクト事業」セグメント

[治療用アプリ開発]

同社は、アンメットメディカルニーズへの解決策の提案を目指して、慢性疾患や認知行動療法、運動療法が有効とされる疾病に対する複数のDTxの開発を行っている。開発中のパイプラインでは不眠症治療用アプリのyukumi(仮)の開発が最も進捗している。同社は、ICTを活用した治療用アプリで不眠症に対する認知行動療法を確立することを目指している。不眠症に対する認知行動療法は、治療中の改善効果、治療後の改善効果の持続性の両面で、睡眠薬を使用した薬物療法よりも優れていることが実証されているが(Jacobs et al., 2004, Arch InternMed)、保険診療が適用されていないこと、人的リソースに限りのある医療現場にとっては負担が大きいことが医療機関での治療法の採用に際して阻害要因となっている。同社は、医療現場での人的リソースの不足を解決するために、普及が進んでいるスマートフォンのアプリケーションを活用し、薬物療法から認知行動療法へのシフトを推進することで、睡眠薬の処方量の削減及び適正使用につなげ、社会的課題を解決するサービスを展開していく。事業推進上、対処すべき課題としては、治験による医療機器承認と、保険収載及び収益確保が可能となる保険点数の実現が挙げられる。

サスメド

4263・100株
12月24日東証マザーズ上場

(2)「DTxプラットフォーム事業」セグメント 〔汎用臨床試験システム〕

不眠症治療用アプリの開発過程において獲得したノウハウをベースに、効率的な臨床試験を実施するためのシステム開発を行っている。リクルーティングの効率化やモニタリングコストの削減などを通じて医薬品・医療機器の開発コストの適正化が期待できる「リモート治験」が2017年頃から欧米を中心に広がってきているが、日本では試験データの真正性の確保に課題を残しており、ごく限定的な範囲でのみ実施されている状況である。同社のシステムには、リモート治験における上記の課題を解決するために、被験者として適切な対象かどうかを判定する「適格性判定」、データ入力者の本人性を確認する「なりすまし防止」、ブロックチェーン技術を用いた「データ改竄耐性」、臨床試験データの欠損を防ぐ「デジタル指導」など、リクルーティングから臨床試験データの解析まで、一貫してデータの真正性を確保するための幅広い機能に関する特許技術を実装している。「データ改竄耐性」の機能に関しては実証実験結果を国際医学雑誌上で論文として発表しており (Motohashi et al., 2019, JMIR)、労働集約的になっている実地でのモニタリング業務の代替によって大幅な臨床試験コストの削減を目指している。本システムに関しては、共同研究契約を国立がん研究センター中央病院と締結した後、乳がん患者に対する運動療法アプリを構築し、2019年5月より臨床研究を開始している。

サスメド

4263・100株

12月24日東証マザーズ上場

免責事項(ディスクレーマー)

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかなるを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは強く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山五丁目13番3号

株式会社フィスコ

電話:03-5774-2443(情報配信部) メールアドレス: support@fisco.co.jp